

中学生らしい身だしなみ

-----流行を追わず、質実剛健-----

【頭髪等】

- 眉や髪を自然に保つ。
- 髪を染めたり、脱色したりしない。
- 整髪料等を付けたたり、パーマをかけたりしない。
- 前髪は、目にかからないようにする。
- 横・後髪はすっきりと保つ。
- 後ろは毛先が襟につく場合はゴムで結ぶ。
- 化粧(色つきリップクリームやアイプチなども含む)をしない。
- ピン、ゴムの色は、黒・紺・茶など髪になじむものにする。
- ピンの数は、必要最小限にとどめる。

【服装】

| | 冬服 | 夏服 |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
| 学生服 | ○ 黒の標準型学生服 (詰め襟式または白カラー付き) ○ 黒の標準型ズボン ○ 白のカッターシャツを着用 ○ ベルト：黒色で、金具は派手でないもの | ○ 白の開襟半袖シャツ (校章がプリントされたもの) (左右の胸にふた付きのポケットが付いているもの) |
| セーラー服 | ○ 紺無地の標準セーラー服 (白無地の襟カバー付き) ○ グレーのリボン (学校指定) | ○ 白の半袖セーラー服 (襟は身ごろと共布で黒線1本入り) ○ リボン・スカートの丈については冬服と同じ |
| ブレザー型制服 | ○ 学校指定のブレザー型制服 ○ ネクタイは着用自由、ただし、式典の際は着用 ○ ボタンは閉める ○ 白のカッターシャツを使用 ○ ベルト：黒色で、金具は派手でないもの | ○ 学校指定のポロシャツ ○ 学校指定のズボンまたはスカート |
| 共通 | ○ 制服の下には、外から見えないもの、色や柄が透けないものを着用 ○ スカートの丈：ひざが隠れる長さ | |

【名札】

- 名札をクリップで留める。

- ① 朝のS Tで配付、帰りのS Tで回収する。
- ② 忘れた場合は、紙名札を着用する。

【防寒具】

- コート、手袋、マフラー、ネックウォーマーについては、時と場所をわきまえて使用すること。
- コートは黒または紺の無地のものを着用する。
- コートの型はスクールコート、ダッフルコート、Pコート、ステンカラーコートとする。
- 手袋、マフラー、ネックウォーマーは、黒・灰色・紺・茶・ベージュ・白を基調としたものを着用する。
- **セーター、ベスト、トレーナー類は、華美でないものを着用する。**
- **セーラー服の上にカーディガンを着用できる。色は、黒か紺に限る。**
- ベージュまたは黒色のストッキング・タイツを着用してもよい。
- 体育時は、ストッキング・タイツは脱ぎ、靴下を着用する。
- 使い捨てカイロは使用してもよいが、必ず家で処分する。

【靴、上履き、靴下】

- 下履きは、白を基調とした運動に適した靴とする。ワンポイント・ライン等、一部に色がついているものは可。
- 上履きは、学校指定の学年色別のものを履く。
- 靴下は白、黒、紺色の靴下を着用する。
(ワンポイントは○ ルーズソックス、くるぶしが隠れないソックスは×)
- 全て必ず記名をする。

【カバン】

- 学校指定のスクールバッグを使用する。
- 補助バッグは地味でロッカーに入るものを使用する。

- ① スクールバッグに着用可能なキーホルダーは、生徒手帳に収まる大きさで1つまでとし、それ以外は不要物とみなす。補助バッグへの着用は不可とする。守れない場合、キーホルダーの着用は認めない。
- ② スクールバッグに入らない荷物は補助バッグを使用してもよい。ただし、教室のロッカーに入るものにする。また、チャック等で口が閉じるものとする。紙袋は認めない。

【持ち物】

- 不要な物は持ってこない。
- 無断で用具の貸し借りはしない。
- ハサミやカッターナイフ等、刃物類は学校に持ち込まない。授業で必要な場合は、教科担任の先生の指示に従い管理する。

- 不要物を持ってきた場合は、いったん預かり、その後本人または保護者に返す。